

SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

◎平成24年6～7月の運転・利用実績

SPring-8は6月4日から7月18日までセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を実施した。第3サイクルでは瞬時電圧低下によるアボート等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は0.95%であった。

放射光利用実績(いずれも暫定値)については、実施された共同利用研究の実験数は、合計405件、利用研究者は1,887名で、専用施設利用研究の実験数は合計256件、利用研究者は1,277名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第3サイクル(6/4(月)～7/18(水))

(2) 運転時間の内訳

第3サイクル

運転時間総計 約1,062時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約223時間

②放射光利用運転時間 約831時間

③故障等によるdown time 約8時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)

に対するdown timeの割合 約0.95%

(3) 運転スペック等

第3サイクル(セベラルバンチ運転)

・203 bunches

・11 bunch train × 29

・1/7 filling + 5 bunches

・入射は電流値優先モード(2～3分毎(マルチバンチ時)もしくは20～40秒毎(セベラルバンチ時))のTop-Upモードで実施。

・蓄積電流 8 GeV、～100 mA

(4) 主なdown timeの原因

・瞬時電圧低下によるアボート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第3サイクル(6/5(火)～7/14(土))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26本

専用ビームライン 17本

理研ビームライン 9本

加速器診断ビームライン 2本

第3サイクル(暫定値)

共同利用研究実験数 405件

共同利用研究者数 1,887名

専用施設利用研究実験数 256件

専用施設利用研究者数 1,277名

◎平成24年7～9月の運転・利用実績

SPring-8は7月19日から9月23日まで夏期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

◎今後の予定

SPring-8は9月24日から10月20日までセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を行い、10月21日の停止をはさみ、10月22日から11月23日までセベラルバンチ運転で第5サイクルの運転を実施する。第4～5サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。